

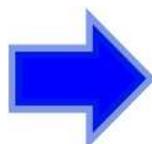
(報告事項)

2024年問題による 区内交通への影響等について

改善基準告示の改正の概要

1日あたり

拘束時間 → 短縮
休息時間 → 延長



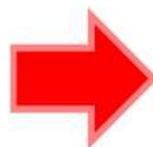
運転手の時間的労働環境が改善

改善基準告示の改正により生じる問題

一方…

これまでと同じダイヤを維持するために

より多くの
運転手が必要になる



いわゆる

2024年問題

ダイヤ改正
運行便数の減便
路線の休止・廃止
路線の短縮
などの影響

都内路線バス全般

減便等の状況

- コロナ以前と比較し、系統数は▲1.1%ではあるものの、運行回数▲14.2%、走行キロ▲14.5%
 - ・ 運転手不足の中にあっても、減便対応等で路線ネットワークの維持に努めているのが現状
 - ・ 黒字路線の減便してでも、支線路線の最低限の確保に努めている事業者もある
- 人流の変化に伴う、深夜バスや深夜急行の廃止

運転手不足の状況

- 改善基準告示の改正による運転手不足の顕在化
- 将来の運転手不足を見越し、コロナ禍の中でも各社雇用を死守したが、この間、新規採用を行うことができなかった
→以降の運転手不足に拍車がかかった

今後の課題

- 運転手は以前から不足傾向。今後は少子高齢化社会の影響も含め慢性化の可能性
- 事業者の自助努力だけによる公共交通の維持が困難になる可能性
- 乗客の転倒事故のリスク軽減(乗客、一般車両への周知)、カスタマーハラスメントの防止

区内路線バス

- ① 2024年問題への対応を主な要因とした減便等の状況
- ② 運転手不足に対する取組
- ③ 課題

	①減便等の状況	②運転手不足に対する取組	③課題
東京都交通局 (都営バス)	なし (平日365便、土休日650便運行中)	<ul style="list-style-type: none"> ・養成枠選考 ・受験資格(年齢要件)の緩和 ・PR活動の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・運転手の高齢化による退職者の増加 ・乗務員の確保
京成バス株式会社	平日1,401便→1,304便 土休日1,116便→1,030便	<ul style="list-style-type: none"> ・正社員での採用 ・給与賞与の改善 ・就職説明会の工夫 ・職場見学会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の法令改正で更なる乗務員拘束時間の短縮が必要になった場合、朝夕等の需要に対応しきれなくなる可能性がある
京成タウンバス株式会社	平日511便→510便 ※経路変更によるもの (土休日461便運行中)	<ul style="list-style-type: none"> ・給与、各種手当の改善 ・勤務形態の選択 ・運転時のストレス軽減 ・各種PR活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・路線新設、増便に回す分の運転手が不足
東武バスセントラル株式会社	平日404便→366便 土休日364便→328便	<ul style="list-style-type: none"> ・給与の改善 ・各種福利厚生の改善 ・各種説明会の工夫 ・各種PR活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・運転手不足により、緊急時対応可能なシフト作成に苦慮 ・ゆとりを持ったシフトにするためには、今後もダイヤ改正が必要
日立自動車交通株式会社	区内運行全路線(3系統) 運休	<ul style="list-style-type: none"> ・給与、手当の改善 ・社宅の整備 ・各種説明会への積極的参加 ・休日数増のためのシフト構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・運転手が20名ほど不足しており、減便対応を余儀なくされている
マイスカイ交通株式会社	なし ※新型コロナ、運転手不足により過年度に減便	<ul style="list-style-type: none"> ・各種説明会への積極的参加 ・ハローワークとの連携 ・新聞折込による求人 	—

都内タクシー運行全般（2024年問題の影響・現状）

■ 労働時間の短縮に伴う収入減による懸念

（タクシー事業者）

- ・ 車両や利便機器、安全設備などへの設備投資の減少

（タクシー運転手）

- ・ 乗務員の離職、採用難につながる可能性

■ 労働時間の短縮により想定されるタクシー稼働台数減の影響

- ・ アプリ配車の増加による、流しや駅待ちタクシーの減

区内タクシー運行全般（2024年問題の影響・現状）

■ 改正による影響は特になし

■ 乗務員数は増えており、町中の運行台数は増加傾向

■ 一方で、アプリ配車の増加による駅待ちタクシーの減

今後の公共交通について

■ 都内交通空白地域の解消に向けたタクシーの活用に積極対応

■ 公共交通維持のためには移動手段の需給バランスが重要

■ 4月より日本版ライドシェアを開始

